別 紙 ３

競技会場等設計業務上の課題

平成３２年の国民体育大会バドミントン・ソフトボール・ゲートボール競技会開催期間

中について，下記の点を考慮して方策を提案すること。

**【課題１】**競技会場配置計画および動線，ゾーニング計画

平成３２年は東京オリンピックが開催され，メダル獲得の可能性が高く，多数の来場者

が予想されることから，「会場配置計画」「会場内の動線」「ゾーニング計画」について

総合的に会場設営及び配置を検討し，大会運営が円滑に行えるような方策を提案すること。

**【課題２】**安全性・快適性・経済性に配慮した会場づくり

　競技会場整備においては，障害のある人をはじめ，大会に携わる全ての人たちの安全性

を最優先した会場整備が求められる。また，参加する選手が快適な環境で競技ができると

ともに，一般観客者や大会を支える関係者も快適に利用できる会場整備が求められる。

　そこで，安全性・快適性・経済性に配慮した効率的な会場づくりについて，基本的な考

え方と方策を提案すること。

**【課題３】**指宿市らしい会場づくり

　全国各地から参加される選手団や大会関係者をはじめ，指宿市を訪れる全ての方々に，

「心のこもったおもてなし」でお迎えし，豊かな自然と食，個性あふれる歴史や文化など

に触れていだだけるよう，オール指宿で，鹿児島・指宿らしさを活かした国体を目指して

おり，競技会場整備においても，このような趣旨を踏まえた会場整備が求められている。

「指宿」らしい会場づくりについて，基本的な考え方と方策を提案すること。

**【課題４】**その他自由課題

　円滑な競技運営（リハーサル大会を含む）を見据えた会場づくりについて，上記以外の課題を自由に設定し，解決方法を提案すること。